

# 大雪被害で奔走

## 農業再建のための 予算146億円が可決

6月定例会には約146億円の一般会計補正予算（農業関連）が提出されました。2月の大雪被害により倒壊した農業用ハウス等の解体・撤去、再建・修繕に要する経費の助成が主な内容です。一刻も早い農業支援を求め賛成しました。



## 現地では再建はほど遠く

支援制度はできても、現地では「助成制度の情報が農業者に届かない」「手続きが難しすぎて申請をあきらめた」「申請をしたのに未だ撤去費用も支給されない」など、再建にはほど遠い現状があります。

党県議団は定例会開会に先立つ6月2日に深谷市など再び視察。6月13日に埼玉県に、7月16日に農水省に対し、申請手続きの簡素化や情報の周知徹底を図るよう申し入れました。



## 動物園と平和資料館に 行ってきました

6月21日、村岡・奥田両県議と川口のファミリーたちで東松山の埼玉ピースミュージアムと子ども動物自然公園へ。資料館では戦時中の教室を子どもたちが体験。鳴り響く空襲警報にびっくり。動物園はポニーに乗って、ゆったりとしました。ぜひ、両施設にお出かけ下さい。



## スナップショット



6月9日重度心身障害者の入所施設県立嵐山郷視察



7月15日群馬県ハツ場ダム建設予定地にて



5月23日女性たちが教育委員会の中立公正の堅持を求める申し入れ



村岡まさひこ

プロフィール：党県議団幹事長、県土都市整備委員、危機管理・大規模災害対策特別委員、議会運営委員一級建築士、埼玉県応急危険度判定士、東洋大学工学部卒、川口市議2期、2011年より埼玉県議会議員



おくだ 智子

プロフィール：1968年（昭和43年）鳩ヶ谷生まれ。東京家政大学家政学部卒業。栄養士。2011年まで鳩ヶ谷市議会議員（4期）。家族は夫と長男。川口市鳩ヶ谷本町に在住。趣味は読書。2014年県議補選で当選。総務県民生活委員、人材育成・文化・スポーツ振興特別委員、図書室委員

この人だあれ??



左：奥田県議



7月4日県庁前集会和昼デモ



7月11日改憲意見書に抗議



# 「戦争できる国づくり 安倍自公政権の暴走は 許しません」埼玉から発信

安倍自公政権は、海外で戦争できる国づくりにつながる集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を7月1日強行しました。

一方埼玉県議会は、6月定例会の最終日の7月11日「憲法改正草案の早期作成を求める意見書」

を自民党・刷新の会らが提出し多数をもって可決しました。

戦争を放棄した9条をはじめ日本国憲法は世界に誇るべき宝です。党県議団は憲法を踏みにじり、戦争参加へと暴走する勢力の企みは許しません。



7月1日JR浦和駅にて県議会民主党・社民党・共産党の3党派合同宣伝

埼玉県議会議員（川口市選出）

## 村岡正嗣・奥田智子の 県政だより

夏号 発行 2014年8月

日本共産党埼玉県議団

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1 埼玉県庁内  
TEL048 (824) 3413 FAX048 (825) 1048  
http://jcp-saitama-pref.jp/

# 自民党県議会が暴走!!

## 安倍政権の「戦争できる国づくり」への暴走…埼玉でも

2013年9月2日

### 教科書採択の再考を求めて繰り返し追及

検定合格した特定の歴史教科書を採択したことを問題にして、文教委員会で閉会中審査を行い、繰り返し再考を求める。教育への不当な政治介入です。

9月13日

### 校長 8 人、文教委員会よびだし

特定の教科書を採択したことを問題にして、委員会に採択した学校の 8 校長を委員会に呼びつけ、追及。現場を萎縮させる圧力は許されません。

9月定例会

### 「高校日本史教科書への再審査を求める決議」を可決

定例会最終日、「高校日本史教科書への再審査を求める決議」が自民・刷新の会の賛成で可決されました。教育への不当な政治介入です。

12月定例会文教委員会

### 生徒の感想文を議会委員会で審議

県立朝霞高校の台湾修学旅行の事前の平和教育を問題視して、生徒の修学旅行の感想文を県教委に提出させ、委員会で審議。内心の自由を侵す行為です。

そして 2014年6月定例会

### 憲法改正案を早期に作成するよう求める意見書を可決

6月定例会最終日の7月11日、自民党・刷新の会より、意見書案が提出されました。これは、「新たな時代に相応しい憲法に改めるため国会は憲法審査会において憲法改正案を早期に作成」することを求めたもので、憲法9条の改悪がねらいであることは明白です。党県議団はこれに反対して、「東

アジアをめぐる厳しい情勢がありますが、日本が憲法9条を生かした外交で東アジアでの平和の共同体づくりにイニシアティブを発揮してこそ、諸問題の解決が図られると考えます。」と討論しました。意見書は、自民党・刷新などの賛成で可決されました。解釈改憲に続く明文改憲の企みは許せません。



### 憲法改正求める意見書提出に駆けつける 県民のみなさん

県議会で憲法改正を求める意見書案が提出されたと聞いて 40 人余りの県民のみなさんが傍聴・抗議集会に駆けつけてくれました。

◆請願	自民	民主	公明	刷新	共産	結果
集団的自衛権容認の閣議決定をしないよう求める請願 (平和委員会)	×	○	×	×	●	不採択
集団的自衛権容認の閣議決定をしないよう求める請願 (新婦人)	×	×	×	×	●	不採択
「高校・大学教育の無償化」の前進を求める請願	×	○	×	×	●	不採択
少人数学級などを求める請願	×	×	×	×	●	不採択

○採択すべき ×不採択とすべき

### 県立小児医療センター

2011年 広々としたさいたま市岩槻区からさいたま新都心へ、知事のトップダウンで移転計画発表



現在地に残す機能を検討します (2012年2月)



上田知事 (ブログより)

なのに2年半たっても何一つ説明なし。予算もなし

……だが

2014年6月定例会

## 移転後跡地に残す機能 報告

- 1 現患者から171人を選びその人たちの日常的医療管理の機能 (週に数日)
- 2 重症児の在宅ケア支援機能 (民間を視野につくる)

定例会の福祉保健医療委員会で柳下県議は、現在重症ではない子どもでも、脱水症状などで頻繁に通院が必要になる場合があり、171人から枠を広げてほしいと追及。県は「そういう高度医療は

新都心の新病院へ行ってほしい」と答えました。

また、重症児の施設は病院の責任として県立で行うべきであり、はじめから民間を視野に検討すべきではないと指摘しました。

### 患者家族説明会 「救急と入院は不可欠」患者家族と病院スタッフ

7月26日、跡地についての患者家族説明会が開かれ、70人以上が参加しました。

患者家族の「うちの子はED(経腸チューブだが、夜中によく詰まる。跡地で替えてもらえるのか)などの質問

には「専門的な治療はすべて新病院に行ってほしい」という回答。

「退院後半年で、4回も救急車で運ばれた。」「救急と入院機能は絶対不可欠です」という声が相次ぎました。中村議病院長も、最後のあいさつで「こ

の病院に電気が消えている時間があったはならない」「重症児の救急ぐらいはやりたいと強く県に言ってきた」と発言。患者家族も現場のドクターも跡地案に、納得していません。

移転先のさいたま新都心予定地から

ヒ素 検出... なかには基準値の19倍も!

どうする? 約4万㎡の 汚染土壌

### 現在地存続と地元・患者の要望実現を

地元や患者家族の反対を押し切って進められてきたセンター移転計画。県の「跡地に残す機能」案には、患者家族・現場スタッフ両者から「救急と入院は不可欠」だと、批判の声があがっています。一方、移転先の土壌からはヒ素が検出され、高すぎ

ると指摘されている建設費のさらなる高騰が予想されます。現在地でならば、半額以下で建て替えは可能です。

県議団は改めて、センターの現在地での存続を求めつつ、地元・患者家族の皆さんの要望実現に全力をあげます。

### 埼玉医科大学総合周産期母子医療センターを訪問

5月22日周産期医療の現場に学ぶため、同センターを訪問。田村正徳センター長にご案内いただきました。医師・看護師確保対策について切実な要望をいただきました。

